

フクビグループ SDGsの取り組みについて

弊社グループは2020年11月にSDGs宣言を行い、2021年5月に具体的な数値目標を掲げました。このたび2021年度末までの進捗状況がまとまりましたのでお知らせいたします。

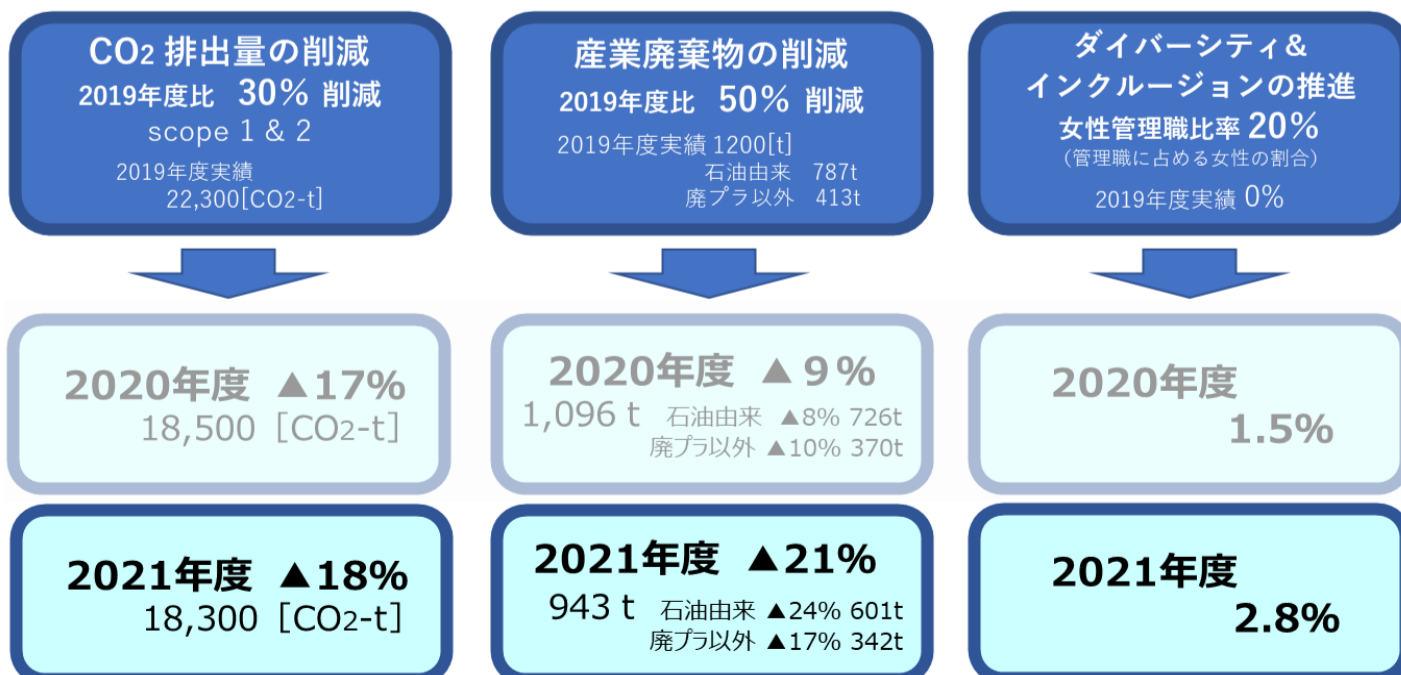


フクビグループSDGs取り組み概要(4つの基本姿勢)とKPI、定量目標

<p>基本姿勢1</p> <p>技術と提案力で 安心・安全・快適な 暮らしを創造する</p>	<p>マテリアリティ:安心・安全・快適な暮らしの提供 KGI:安心・安全・快適を実現する製品開発の推進</p> <p>顧客・社会が求める製品を提供し、住み続けられるまちづくりに貢献する。 新製品累計11件の上市*</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感染症から人を守る製品:抗菌樹脂開口枠、抗菌ケンジュール、コミュニケーションマスク ●ハーツラスAR飛沫防止パネル・フェイスシールド ●住み続けられるまちづくりに貢献:屋外家具ブランド「ファンダライン」の立ち上げ ●省エネ健康:高性能断熱材シリーズ フェノバボードR ●高齢者・子ども向け製品:ピュアナガード、ベリーウェイ、ファブロック 	
<p>基本姿勢2</p> <p>環境と共に生きる 社会を創造する</p>	<p>マテリアリティ:技術革新 KGI:資源循環の推進</p> <p>低炭素社会と資源循環型社会の実現に貢献する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境配慮製品開発:バイオマス・リサイクル材料利用 累計11件* ●省エネ設備への切り替えによるエネルギー効率化、太陽光発電の導入 ●過剰梱包材の削減 ●樹脂スクラップ材料の自社還元率向上 	
<p>基本姿勢3</p> <p>スマートワークで 「一人ひとり」の 価値を創造する</p>	<p>マテリアリティ:働きがいのある仕事の提供 KGI:デジタルの活用推進 従業員エンゲージメントの向上</p> <p>従業員エンゲージメントを高め、多様性と働きがいある環境を実現させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●女性の管理職登用 ●ペーパーレス化プロジェクト活動による紙・印刷関連費用の削減と業務改革の推進 ●EAP推進室を設置し、こころとからだの健康づくりに向けて運営を開始 	
<p>基本姿勢4</p> <p>パートナーシップで 持続可能な 地域社会を創造する</p>	<p>マテリアリティ:パートナーシップ・アライアンス KGI:パートナーシップによる価値の創出</p> <p>社外とのパートナーシップを高め、共通のテーマ・目標について協働することにより、自社のみでは達成しえない社会課題の解決に貢献する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●DBJ環境格付けを取得 <p>第三者機関による客観的な評価により、環境経営(非財務面)における当社の強みと課題を抽出し、今後強化すべき方向性を見極め</p>	

*2020年度、2021年度の累計

2030年目標 (KPI)



* '19年度(86期)比

* '19年度(86期)比

2022年度 強化方針

- 環境貢献を成長戦略と整合させ、実行性を高める。
- サステナビリティ経営体制を強化する。
- 環境経営で捉える範囲を広げるとともに、情報発信を強化する。

今後の展開について

これまでのSDGs推進活動で得られた情報、当社のステークホルダーからの要請や社会情勢の変化を踏まえ、環境への取り組みをさらに実行性あるものにするため、この度フクビグループの「環境への取り組みスローガン」を定めました。

自社のCO2排出量の削減や産業廃棄物の削減に加え、これまでも企業理念の下推進してまいりました、事業活動を通じた社会貢献である環境配慮型製品のブランド化、これらを紹介するウェブサイトの充実を図り、環境経営を深化させてまいります。

今後、この取り組みを推進するにあたり、社内の認証制度などを整備してまいります。内容が固まり次第お知らせ致します。

これらの取り組みによって、環境への貢献をフクビグループの成長戦略と整合させ、実行性と継続性を高めてまいります。

環境への取り組みスローガン

(イメージ)

地球を、クマなく想う

未来の地球の姿を想い、
今私たちにできることを考える。



フクビ化学のシンボルであるクマのマークは、創業者・八木熊吉に由来しています。
創業時から今日まで。クマのマークとともに歴史を積み重ね、お客さまにクマなく向き合い、
全国の拠点からクマなく製品を展開してきました。

そんな私たちがこれから目指すのは、「地球をクマなく想うこと。」

例えば、使い終わった後の樹脂製品を回収し、廃棄せずに新しいものに作り替えるという取り組み。
プラスチックなどと自然が共存できる可能性を探りながら、

「Reduce・Reuse・Recycle・Renewable」に続く5つ目の「R」、「Revalue = 再価値化」を実践します。

培ってきた化学のチカラで何ができるか。

フクビ化学は、地球をクマなく見つめ、考え、想い続けています。